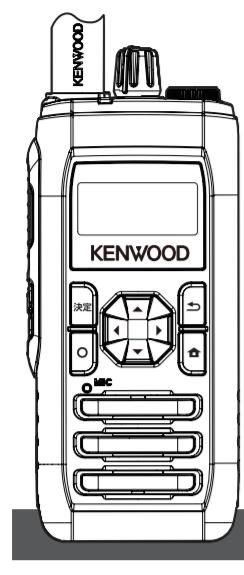


## TCP-D751

UHFデジタル携帯無線電話装置

## 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。  
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。  
本機は電波法令による無線局の免許を取得または登録をして使用する製品です。



株式会社 JVCケンウッド

BSA-2827-30 (J)

## 株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12  
● 商品および商品の取扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。  
● 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覗いただくか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。  
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

## JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル	0120-2727-87
携帯電話からは、ナビダイヤル	0570-010-114
一部のIP電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は	045-450-8950
FAXを送信される場合は	045-450-2308
住所	〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付日	月曜日～土曜日(祝祭日および弊社休日を除く)
受付時間	月～金曜日 9:30～18:00 土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

## 電波法に関するご注意(つづき)

## 登録局運用時のご注意

- 登録状の範囲を超えた運用は電波法違反となりますのでご注意ください。
- 無線局の登録(包括登録の場合には開設の届出)をおこなわれますと、総務省より電波利用料の納入告知書が送付されて来ますので、納付期限内に電波利用料を納付してください。
- 登録局の有効期間は、登録の日から5年間です。再登録の申請は、登録の有効期間満了の3か月前から1か月程度までの期間内に手続きをおこなってください。
- 再登録をおこなわずに本機を使用しますと、「電波法第110条」により、「1年以下の懲役又は百万円以下の罰金」に処せられます。十分ご注意ください。
- その他、必要に応じて下記の手続きをおこなってください。
  - 登録状が破れたり、汚れたり、紛失した場合(再交付申請)
  - 登録状を廃止した場合(廃止届出)
  - 申請および届出の手続き、工事設計の認証を受けたアンテナについて、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## Bluetooth®機能について

本機背面に貼られているラベルに記載の、Bluetooth機能についての表示について説明します。

2.4FH1

「2.4」：2.4 GHz 帶を使用する無線設備を表します。

「FH」：変調方式を表します(FHSS:周波数ホッピング・スペクトラム拡散方式)。

「1」：想定干渉距離を表します(10 m以下)。

「—」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを利用しています。

## Bluetooth機能による電波干渉についてのご注意

本機のBluetooth機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

- Bluetoothに使用される2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア局が運用されています。
- 本機のBluetooth機能を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
- 本機のBluetooth機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など(以下「他の無線局」という)が運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機のBluetooth機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機のBluetooth機能をオフにしたうえで、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご連絡いただき、混信回避の処置についてご相談ください。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社 JVCケンウッドは使用許諾のもとでこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

## ご使用の前に

## 説明上の注釈表記について

このマークが付いた注釈は、使用上の注意事項が記載されています。

このマークが付いた注釈は、使用上の補足事項が記載されています。

## ご使用上のご注意

- 施設の管理等により、無線機器の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用すると、電波妨害が発生することがあります。これらの機器からは離れてお使いください。
- 本機を複数で使用する場合、近距離(約 10 m 以内)で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、電波妨害が発生することがあります。
- 通話のできる距離は地形や環境(天候や建物などの障害物)によって短くなることがあります。そのようなときは、少し場所を移動して運用してください。
- 通話のできる距離の目安は下記のとおりです。建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。
- ※送信出力 5 W 出力時
- ・市街地: 0.5 km ~ 1 km • 見通しのよい場所: 1 km ~ 4 km

## 安全上のご注意

## 絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人の危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、下記の内容(表示と意味)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## △ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
	分解してはいけることを示す記号です。
	水が掛かる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## △ 危険

## 使用環境・条件

引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。

運転しながら本機を操作(通信)するにはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作(通信)してください。

## バッテリー・パックの取り扱いについて

バッテリー・パックは下記のことをお守りいただけない場合、怪我やバッテリー・パックの漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

バッテリー・パックを電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。

充電温度範囲は、5°C～40°Cです。この温度範囲以外では充電しないでください。

指定以外の充電台では充電しないでください。

本機以外の機器に取り付けないでください。

火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解したりしないでください。

濡れた本機とバッテリー・パックを充電しないでください。

火災や電気の原因となります。

端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアクリップなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

液が自に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

## △ 警告

## 使用環境・条件

電子機器(特に医療機器)の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障、誤動作の原因となります。

空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での本機の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認したうえでご使用ください。

## △ 注意

## 使用環境・条件

テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害書きをえたり、受けたりすることができます。

直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色し、火災の原因となることがあります。

グラふいた台の上や傾いたところ、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして怪我の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなるまでご使用ください。

本機や付属品は幼児の手の届かないところに保管してください。

! 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

## 使用方法について

オプション機器は指定された製品以外を使用しないでください。指定機器以外を使用すると誤動作や故障の原因になります。

エアバック装置の近くに本機を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど装置が体に当たって怪我をすることがあります。

機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカー・マイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。

本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電・故障の原因となります。

本機は調整済みです。改造・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

アンテナやストラップを持って、本機を振り回さないでください。人に当たって怪我を負わせたり、物に当たって装置が破損したりすることがあります。

ネックストラップを使用している場合、ネックストラップがドアや機械等に挟まらないように注意してください。怪我の原因となります。

高温になる場所(火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。火災・やけど、怪我の原因となります。

アンテナ端子に触れているときに送信しないでください。高周波や1000Hz以上の音波が発生する場合があります。

## 異常時の処置について

内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損したりした場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがしたりするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。

煙が出たら、すぐに電源を切り、バッテリー・パックを外し、充電中は電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してください。お買い上げの販売店にご連絡ください。

雷が鳴いたら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

## 保守・点検

本機のケースは開けないでください。感電・怪我・故障の原因となります。内部の修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。

煙が出たら、すぐに電源を切り、バッテリー・パックを外し、充電中は電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してください。お買い上げの販売店にご連絡ください。

雷が鳴いたら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

## 保守・点検

アンテナを誤って目にさないようにご注意ください。

乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用したときに静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じることがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカー・マイクロホンをご使用ください。

長期間使わないときは、電源を切り、バッテリー・パックを外してください。

お手入れの際は、安全のため電源を切り、バッテリー・パックを外してください。

## 使用方法について

アンテナを誤って目にさないようにご注意ください。

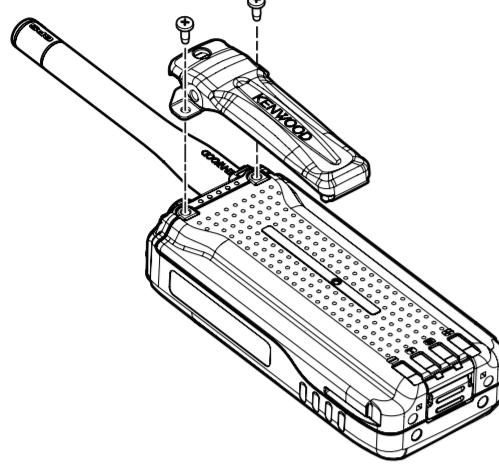
このような場所では、イヤホンを使用したときに静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じることがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカー・マイクロホンをご使用ください。

# ご使用の前に(つづき)

- 必ず無線機の電源を切った状態で接続してください。
- プラグの差し込みが不十分の場合、電源を入れたときに警告音が鳴ります。
- 使用前に、オプション機器の取扱説明書をお読みください。
- オプション一覧に記載している専用品を接続してください。専用品以外を接続すると誤動作や故障の原因になります。
- プラグを取り外すときは、プラグ部をしっかりと取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、故障の原因になります。
- 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、イヤホンやマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。

## ベルトフックの取り付け(別売品)

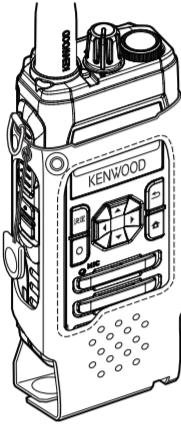
無線機本体のネジ穴とベルトフックを合わせて、取り付けます。ネジは必ずベルトクリップに付属のネジを使用し、ネジが緩まないようにしっかりと取り付けてください。



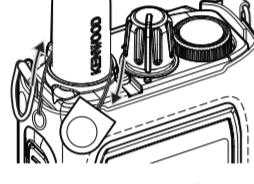
◆ベルトフックの付属以外のネジを使用しないでください。  
◆ネジの緩みがないか時々確認してください。

## ハードケース(別売品)の取り付け

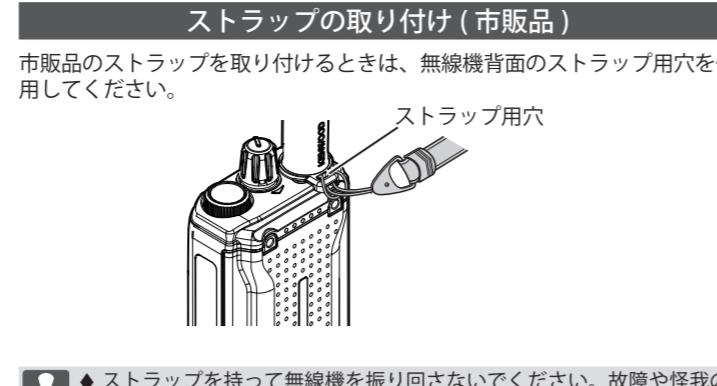
### 1 無線機をハードケースの上面から挿入する



### 2 無線機のアンテナに抜け防止ひもを掛け、ホックをとめる



ハードケースを装着したまま充電することができます。  
ハードケースの底面のホック2箇所を外し、ケースを開いて無線機を充電台に挿入してください。



◆ストラップを持って無線機を振り回さないでください。故障や怪我の原因となります。

## オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

- KNB-83L リチウムイオンバッテリーパック(1820 mAh)
- KSC-51LCR 連絡充電台
- KSC-45LSL ACアダプター(6連続対応)
- KMC-55 スピーカーマイクロホン(防水)「IP67」
- EMC-13 イヤホン付きクリップマイクロホン(インナーイヤータイプ、ライトユース)
- EMC-14 イヤホン付きクリップマイクロホン(耳掛けタイプ、ライトユース)
- EMC-15 イヤホン付きクリップマイクロホン(イヤーハンガー付き)
- EMC-16 イヤホン付きクリップマイクロホン(イヤーハンガー、PFキー付き)
- KHS-37 ヘッドセット(耳掛けタイプ、ライトユース)
- KHS-207T ワイヤレスヘッドセット(VOX 対応)
- KEP-6 イヤホン(イヤーハンガー付き)
- KBH-10 ベルトフック(幅広タイプ)「50 mm 幅対応」
- KBH-20 ベルトフック
- KBH-21 ベルトフック(幅広ロングタイプ)「50 mm 幅対応」
- KLH-213 ハードケース
- KSB-11 ショルダーベルト
- KRA-23 アンテナ(UHF ヘリカルショート)「免許局対応」
- KRA-27B アンテナ(UHF ホイップ)「免許局対応」
- KRA-46 アンテナ(GPS 付きヘリカル)「免許局 + 登録局対応」
- KRA-44G アンテナ(GPS 付きヘリカル)

「一般業務無線 350 MHz 帯 + 登録局対応」

◆本機に使用できるオプションが追加されたり、生産が終了することがあります。オプションについてはカタログなどをご覧ください。

## 仕様

用途	一般業務無線機 免許局(3B/3C/3D)+ 登録局(3R/3T)	簡易無線機 免許局 登録局(3B/3C/3D)	簡易無線機 登録局(3R/3T)
機種名			
型式名	TCP-D751FT	TCP-D751CT	
周波数範囲	350-470 MHz	3B/3C: UHF 帯 75ch 3D : UHF 帯 10 ベア ch (中継用) 3R/3T: UHF 帯 82ch	3B/3C: UHF 帯 75ch 3D : UHF 帯 10 ベア ch (中継用)
変調方式	デジタル 4 値 FSK FM (アナログ)	デジタル 4 値 FSK	
電波型式	F1D/F1E/F1F F3E/F2D	F1D/F1E/F1F	
送信出力	5 W/4 W/1 W		
使用電源		DC7.4 V ± 10%	
内蔵スピーカー出力		700 mW (10% 壓み)	
外形寸法 (突起物含まず)	幅: 56 x 高さ: 123 x 奥行: 29.8 mm (KNB-83L 使用時)		
外形寸法 (突起物含む)	幅: 58.4 x 高さ: 137 x 奥行: 31.7 mm (KNB-83L 使用時)		
質量	約 300 g (バッテリー、アンテナ、ベルトフック含む)		
アンテナ端子	SMA-P		
防塵・防水性能	IP54/55/67/68		

※仕様は予告なく変更することがあります。

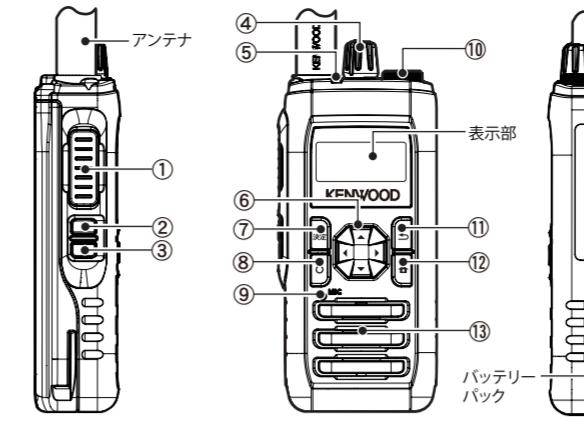
※上記「用途」欄に記載の「3B/3C/3D」などは無線機の種別コードを示しています。

※「3B/3C/3D」の無線機は「3B」の無線機と互換性があります。

また、「3R/3T」の無線機は「3R」の無線機と互換性があります。同じ周波数設定のチャンネルであれば通信が可能です。

# 各部の名称と機能

## 操作キー/ツマミ



## ①【PTT】スイッチ

押すと送信します。押したままマイクロホンに向かって話します。

## ②【サイド1】キー

ユーザーコードが解除されます。

## ③【サイド2】キー

バックライトが動作します。

## ④【電源/音量】ツマミ

電源 ON/OFF、および音量調節をします。

## ⑤送受信LED

送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。

## ⑥【▲/▼/◀/▶】アップ/ダウン/レフト/ライトキー

アップ: チャンネルアップが動作します。

ダウン: チャンネルダウンが動作します。

## ⑦【決定】メニューキー

押すとメニュー mode に入ります。

長く押すとキーロック機能が動作します。

## ⑧【O】ファンクションキー

出荷時は機能が設定されていません。

## ⑨マイクロホン

⑩外部マイクロホン端子(防水カバー)

## ⑪【左】バックキー

出荷時は機能が設定されていません。

## ⑫【家】ホームキー

出荷時は機能が設定されていません。

## ⑬スピーカー

受信音声を出力します。

◆各キー動作機能は出荷時の設定です。販売店でのオプション設定により、動作機能は変更できます。

## 表示部(簡易無線機での運用モードでの表示)

●画面例は免許局+登録局モデルの例です。

補助領域表示

アイコン表示

サブ表示

メイン表示

キーガイド表示

表示エリア

説明

アイコン表示 設定された機能の動作をアイコンで表示します。

メイン表示 チャンネル番号やメッセージなどを表示します。

サブ表示 免許局、登録局のチャンネル番号などを表示します。

補助領域表示 設定された機能の補助的内容を表示します。

キーガイド表示 [決定] [▲] [▼] キーを押すと起動する機能を表示部の下側に表示します。

※表示されるキーガイドは無線機の状態で異なります。

## 機能アイコン一覧

アイコン	説明
■	受信している電波の強さを表示します。
■■■	強 ■■■ 中 ■■■ 弱 ■■■ 微弱 表示なし: キャリア無し
■■■■■	バッテリー容量の残量を表示します。
■■■■■	高 ■■■■■ 中 ■■■■■ 低 ■■■■■ (点滅): 早めに充電してください
H	送信出力が 5 W に設定されているときに点灯します。
M	送信出力が 4 W に設定されているときに点灯します。
L	送信出力が 1 W に設定されているときに点灯します。
R	受信専用チャンネルに設定されているときに点灯します。
PH	PTT ホールド機能が設定されているときに表示します。
○	スキャン中に点灯します。スキャンが一時停止中は点滅します。
AC	オートチャンネルセレクト機能が ON のときに表示します。
#2	セカンド PTM 機能が ON のときに表示します。
▼	セカンドチャンネルを表示しているときは点滅します。
✉	メッセージの受信履歴(スタックデータ)を表示します。
✉	点灯: 受信履歴に既読のメッセージがあります。 点滅: 受信履歴に未読のメッセージがあります。
P1	優先チャンネル 1 が設定されているときに点灯します。
F2	優先チャンネル 2 が設定されているときに点灯します。
▼	選択しているチャンネルがスキャンの対象ゾーンであると点灯します。
◆	アナログモードで秘話機能が ON のときに点灯します。
◆	デジタルモードで秘話機能が ON のときに点灯します。
🔇	暗号化された信号を受信すると点滅します。
🔊	モニター機能が ON のときに表示します。
Bluetooth	Bluetooth 機能が ON のときに点灯します。処理中は点滅します。
Bluetooth	Bluetooth 機器と接続中に点灯します。
senal	サイレントアラーム機能が設定されているときに表示します。
senal	点滅: サイレントアラーム機能による音声ミュート状態に表示します。
senal	点灯: 音声ミュートをキー操作で解除したときに表示します。
音量	音量アッテネート機能が ON のときに表示します。
イヤホン	イヤホンモードが ON のときに表示します。
人	選択呼出が一致しているときに点滅します。
人	定時確認(ローンワーカー)機能が ON のときに表示します。
筆	非常検知機能が ON のときに表示します。
通話メモ録音	通話メモ録音中に点滅します。
GPS	GPS衛星を測位していると点灯します。非測位状態のときは点滅します。
GPS	VOX 機能が ON のときに表示します。
GPS	劇場モードが ON のときに点灯します。
外部スピーカー	外部スピーカーが ON のときに点灯します。
各アイコン	各アイコンは、販売店にて機能が設定されている場合に表示されます。

# 基本操作

## 通話する

### 1 【電源/音量】を右(時計方向)に回して電源を入れる

「ピーッ」と鳴って電源が入ります。

### 2 【▲】/【▼】を押してチャンネルを合わせる

使用するチャンネルが決まっている場合

通話する相手局と同じチャンネルに合わせます。簡易無線免許局で使用するチャンネルは、サブ表示に「B」やチャンネル番号を表示します。

※サブ表示例: 免許局モデル、および、登録局モデルの場合。

## 通話時の制限について

### キャリアセンス(混信防止機能)について

本機は、電波法の規定によりキャリアセンス(混信防止機能)を備えています。登録局での運用時および劇場モードで使用する際に動作します。

● 送信しようとしているチャンネルが他の局に使われているときに【PTT】を押すと、警告音が鳴り表示部に「ビジー」と表示されると送信できません。

● 他の電子機器からの雑音などでもキャリアセンスが働いて送信できない場合がありますが、故障ではありません。

## 通話時間の制限について

本機は、電波法の規定により、簡易無線での運用時に1回の送信時間を5分間に制限しています。

● 5分間の制限時間 10秒前に予告音が鳴り、5分を経過すると警告音が鳴るとともに送信が終了して待受状態に戻ります。

● 制限送信で5分間経過した場合は、その後1分以上経過しないと再度送信することはできません。

## メニュー

各種機能をメニュー形式で実行/設定するモードです。

## メニューから機能を動作させる

### 1 メニュー機能を登録したボタンを押す